

はらなほこ市議会報告

2019年1月

新しい年を迎えました。2019年がみなさんにとって良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。
11月市議会ですり上げた質問を報告します。

運転免許を手放しても 日常生活に不便がない社会にしていくために！

市民の方から、「高齢ドライバーの事故のニュースを聞くと、いずれ自分も免許の返納をと考えるが、代わりの交通手段や、生活を考えると、とても手放すことはできない。」という声をききます。

運転免許を持つ75歳以上の人は、全国で年間20万人のペースで増えると予測されています。免許返納を行いやすい環境を整備し、返納者の生活を支援していくために、地域ごとの問題点を分析することや、周辺部の交通手段の確保と、暮らしを支える新たな交通システムを検討するよう求めました。

市は「地域の需要にえられる、きめ細かな仕組みが必要になる。状況把握に努め、市民意識調査等の結果を活用していく。顕在化してきている課題に対して検討を進めていきたい。」と答えました。引き続きこの問題に取り組んでいきます。【その他の質問】●放課後児童クラブに関連して●子どもの権利とスポーツを楽しむ環境について

6月と9月議会ですり上げた小中学生の登下校時の重すぎる荷物について、小学校ではアメリカ小児学会の基準を参考に、健康を害しないよう改善されました。中学校では教科書などを教室に置いていく「置き勉」に関するルールづくりを、生徒たちが自分たちの力で行おうという取り組みに発展し、テレビ等でも取り上げられました。

ご意見ご要望をお聞かせください。くらしと市政のご相談はいつでもどうぞ